

五段 渡辺純子

寒い陽気ではありましたが、2日間の研修を通し一貫して宮内主任講師の大きくて元気な声に、受講生の気持ちも上向きになり、精力的に取り組むことができた研修会でした。

今回の指導者研修会の受講生は五段から教士の先生方までの幅広い段位で、その習得のレベルはかなりの差があるものでした。宮内主任講師も、発展途上の五段受講生の射技に関しては「言いたいことは山ほどあれど」だと思われましたが、各個人の個性や、目指しているであろうと思われるところについては、とても褒めていただきました。三重十文字など基本体型については厳しい指摘もありましたが、今回は良いところを褒めてもらった受講生が多かったように思われます。

まだまだ未熟な五段受講生から、教士の先生方までが一堂に集まった研修会で、繰り返し繰り返し確認されたのはやはり「基本」でした。すべてにおいて基本、基本、基本、でした。正坐の基本から始まり、受講生全員が道場の端から端まで、何回も何回も行ったり来たり、息合いにあわせ、基本に則り、ひたすら歩く、といった内容もありました。射技の基本、体配の基本、注意点などの丁寧な確認にも時間が滞りませんでした。

2日目は新倉講師、天野・標両地元講師三人による一つの射礼を拝見しました。まさに「感動する行射」でした。私自身の射に対するイメージ作りと、目指すところに、大きな影響を与えて頂いたと、時間が経つほどに強く思います。「自身の行射をもって受講生に悟らせる指導法」を実践された新倉講師の見事さは、本当に尊敬に値します。私自身の弓道生活で、自身の最終到達地点がそのような場所であればと、心から思いました。

午後からの射技研修では4つのグループにわかれ、順番に指導を受けましたが、天野講師と標講師は県内の先生であり、日頃から受講生達の行射を知り尽くしているだけに、よりいっそう細やかな指導となりました。

射技体配だけではなく、宮内主任講師の講和の時間では、精神論も多く語られました。儒教における四書、「論語・孟子・大学・中庸」慎独などの諸概念や、「上品・中品・下品」「下士・中士・上士」、「弓は立禅である」等々。講義を受けた事は全部ノートに記しましたが、長くなってしまう事と、何よりも私自身の理解がまだまだ浅いためにレポートでは割愛させていただきますが、「講習会、研修会に参加する」という事は、ただ自分の悪いところをなおしてもらおう、だけの事ではなく、射技、体配、道具、そして解釈の仕方まで、広く深く知識を得ることができるのだと再確認しました。

2日間の研修を終えて、私が強く思うのは「自身に参加を許された講習会、研修会は、何をおいても出席すべきである。必ず得るものがある。」ということです。これからは機会があれば参加していきたいと思っています。どうもありがとうございました。

地域社会弓道指導者研修会を受講して

錬士五段 進藤美砂

「学びてこれを習ふ、亦悦ばしからずや。朋遠方より来る有り、亦楽しからずや。人知らずして慍みず、亦君子ならずや。」という論語の一節で始まった講習会は、宮内主任講師の掲げられた「義と忠」を学ぼうという目標を目指した二日間でした。礼記射技と射法訓の唱和の後、正坐の姿勢で体を活かすとはどういうことかというお話があり、明日の唱和の際の正坐は、体を活かしたまま行うことになりました。

矢渡しは射手宮内主任講師で行われ、新倉講師より介添の御指導がありました。その後一手行射を審査方式で行い各々の講師より、入退場、歩き方、手の内や妻手の働き、緩みや三重十文字の崩れ、八節の崩れなどのご注意をいただきました。午後は基本動作の研修で、武道として隙をつくらない体配をいかに行うかを学びました。多くのご指導の中で、特に呼吸が体配と射の基本であることを改めて感じたところです。

その後、射技指導があり終了となりましたが、主任講師のおっしゃられた、「体配と射技は一つ」を強く感じた一日目でした。

二日目は体を活かした状態での唱和で始まり、新倉、天野、標三人の講師による一つの射礼が行われました。射礼では皆で心を合わせる事が大切で、それは呼吸を合せる事でもあると思いました。その後二射場にわかれ、持的射礼の研修となり、「原則」、「物見返し」、「取りかけ」の三つの間合いで行われました。昨日のご指導を踏まえ、五人が決められた事を守って射礼をし、全て生気体で行えるよう各自努めることができたと思います。

午後は一つの射礼の研修後、宮内主任講師の御講和で、射品射格の「品」についてお話がありました。「品」は人間の反省の度合いであるというお話から、受けた御指導をどのように反省するかによって射品は出てくるも

ので、弓道においても「一人を慎む」ことが揺るがずに出来るものであれば、弓を引くことで自分の人間性を高めていけるのではないかと考えさせられました。

多くの御指導を頂いた研修会でしたが、自分自身が深く学び、講師の言葉を正しく理解できる素地を養っておかなければ本当に自分のものにはならないと思いました。

第27回山日YBS杯選手権大会

平成25年11月23日(土)

女子の部	参加申込人数	21名	参加者	19名			
	予選通過者数	10名					
順位	氏名	段位	支部名	予選的中数	競射結果		
優勝	勝俣さつき	五段	富士吉田	2	○		
2位	矢崎貴恵	五段	山梨	2	×		
3位	河西映理	五段	南ア	2	×		
				2.3位9名遠近競射			

男子の部	参加申込人数	53名	参加者	45名						
	予選通過者数	24名								
順位	氏名	段位	支部名	予選的中数	競射結果				8寸的	
優勝	上條剛央	四段	上野原	3	○	○	○	○	×	○
2位	渡辺幸太	五段	富士吉田	3	○	○	○	○	×	×
3位	中澤国弘	五段	甲府	3	○	○	○	×		
4位	市川明	五段	笛吹	2	○	○	○	×		
5位	渡辺元樹	五段	富士吉田	3	○	○	○	×		
				3、4、5位5名遠近競射						

称号の部	参加申込人数	30名	参加者	28名			
	予選通過者数	10名					
順位	氏名	段位	支部名	予選的中数	競射結果		
優勝	中込実	錬士五段	南ア	4	○	○	○
2位	矢頭恵造	錬士五段	大月	2	○	○	×
3位	芦澤茂幸	教士六段	笛吹	2	○	×	
				3位9名遠近競射			

高校新人 平成25年10月26, 27日

今大会は台風の通過に伴い雨の中でのスタートでしたが熱戦が繰り広げられました。今回は富士北稜高校と吉田高校が男子団体12射皆中を出すなど、男子のレベルの高さが目を引きました。富士北稜高校は、予選をトップで通過し、決勝リーグも安定した中で勝ち抜いて優勝の座を獲得しました。女子団体では巨摩高校が2年生1人、1年生2人のチーム編成ながら、勝負強さを発揮し、決勝リーグでは的中数を上げながら勝ち進んで優勝しました。優勝者と個人戦上位2名が12月に大阪で行われる全国選抜大会に出場します。全国の大舞台での活躍を期待しています。

女子団体・巨摩高校 個人・柴田美優花(吉田) 西室千郁(上野原)

男子団体・富士北稜高校 吉田高校(推薦) 個人・雨宮啓貴(甲府工業) 中澤滉明(吉田)

山梨県弓道連盟平成25年納射会

平成25年12月8日(日) 小瀬武道館弓道場

参加者数・49名 参加者44名 開始10時10分 終了12時20分

扇のように折目正しく今年の折り目をつけて納射会に望んでほしいと会長挨拶に始まり、会長の矢渡し、担当支部ブロックの持ち的演武が厳しい寒さの中厳粛に行われ、納射会は開催されました。

納射会競射成績(6射)

優勝・中込実(錬士五段) 5中 2位・標哲也(錬士五段) 4中
3位・高部保延(錬士五段) 4中(4中6名遠近競射)